



2019年8月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第179号

日下部クラブ会長 楽しく 気長に じっくりと
 主 湘南・沖縄部部长 ワイズを社会に広める基盤の再構築をする
 東日本区理事 勇気ある変革, 愛ある行動
 題 アジア太平洋地域会長 Action!
 国際会長 より良い明日のために今日を築く

厚木クラブホームページ:
<http://ys-atsugi.jimdo.com/>



第1例会(総会)報告

6月26日厚木YMCAにて第I例会(総会)を行いました。総会前の情報(佐藤節子さんより): 10月16日厚木市文化会館で『福祉の広場』が行われます。10時からの予定ですが次回例会ではつきり連絡をします。今のところ出席者は小林さん佐藤さん小松さん日下部さん堀田の5名です。

YMCA報告

- ・6月28日子ども食堂を行います。全体日程についてはお配りしたA3の用紙をご確認ください。
- ・水の事故から自分を守る、人を助ける「WaterSafetyハンドブック」をまとめてありますのでそれをお配りしました。
- ・先日発生した愛川町から刃物を持った男が逃走した事件についてYMCAも学校側で色々と協議し、厚木市の各学校同様に処置をとらせていただきました。
- ・ユースボランティアリーダーのフォーラムがあります。9月6~8ですが厚木Yからリーダー一人が参加します。

これについて以下の意見がありました。ユースボランティアリーダーズフォーラムの状況について、厚木クラブとしても資金面などで応援しているわけだが、授業の関係とか色々ある事は承知の上、最もリーダーが多い厚木YMCAから誰も参加できない

例会データ	6月	在籍会員	16人
会 員	8人	メイキャップ済み	0人
ビジター	0人	出席率	50%
ゲ ス ト	0人	ロバ	
合 計	8人		12,500円

状況が過去つづいたというのは問題ではないか。これについては時期的な部分などについて一度検討するという返答がありました。

総会

活動報告、会計報告いて各担当より説明がありました。ここで年度予算については年度内に使うということを前提に活動していくという確認が行われました。

資料については全体承認されました。

つづいて新役員の就任式を行いました。新役員の方々については一年間宜しく願いいたします。

2019~2020年厚木ワイズメンズクラブ活動計画

月	活動	備考
6	クラブ総会	6月26日(水)
7	卓話 日下部会長(ストーリーテリングとは)	7月31日(水)
	子ども食堂 体育館で遊ぼう 11:30~14:00	7月14日
8	例会は10月移動例会の検討など・納涼祭	8月28日(水)
	厚木花火大会 後片付け(早朝5時)より	8月4日(日)
	福祉の広場	8月18日(日) 午前中から
	子ども食堂 留学生との交流 11:30~14:00	8月31日(土)
9	卓話 危機管理課職員(東京大地震に備えて)	9月25日(水)
	日本語スピーチコンテスト 佐藤小松日下部参加予定	9月2日(月)
10	移動・横浜・鎌倉クラブとの合同例会 東京方面	10月30日(水)
	市の福祉事業(友好の集い)への協力	10月26日(土)

	子ども食堂	10月26日(土)17時～
11	卓話 日本語学科の現状と未来	11月27日(水)
	チャリティラン	11月16日(土)
	第2例会でクリスマス例会の企画検討	11月9日(土)
	子ども食堂	11月21日(木)
	Y祭	11月23日(土・祭)
12	クリスマス例会	12月7日(土)午後
1	クラブ創立15周年祝い会	1月22日(水)
	卓話 小林美智枝さん(健康づくり体操)	
2	断食月・次年度活動計画検討会	2月26日(水)
3	星野小田急社長の卓話(小田急電鉄の未来像)	3月25日(水)
	日本語スピーチコンテスト	3月13日(金)
4	卓話 厚木市の新年度計画 石井さん	4月22日(水)
5	厚木 YMCA との親睦交流会(奥菌さんを囲んで)	5月27日(水)

*都合により、卓話者や内容に変更がでることもあります。



新役員

第2例会報告

第二例会記録(7月13日)

出席者 4名(会長、会計、監事、事業委員)

1. 第二例会時間変更 次回から16時半～18時
2. 第二例会で賛否を表決するに至った時の処置に

ついて質問があり、田口事業委員から概略次のコメントがありました。「第二例会は幅広く多くの人に出席していただきたいとの思いから第二例会とし、役員会ではありません。従って会則にも定められてはいませんから、役員会が一定の規則にはめられている以上、何らの規則もない第二例会での表決は効力を持ちえないと思いますが、その場の雰囲気伝える貴重なものと思います。その場合第二例会も会長の主催の会合ですから、部則第8条第5項「賛否同数の場合に議長も裁決に加わることが出来る」が常識ではないかと思います。

第二例会は役員を中心に多くの方の参加を願ってのもので、次回からは会議時間が1時間半と短くなりますが出来るだけ、クラブの円滑な運営に必要な情報をお伝えするよう努力したいと思っております。些細なことが相手を傷つけたり、大きな感動を与えたりしますので、出来るだけ些細なこともお伝えしようと思っております。」

3 移動例会企画 川口移動例会実行委員長より横須賀市にある二カ所のYMCA関連施設訪問の企画案について説明がありました。次の第一例会で行き先を皆さんで選定の予定。

4. 8月28日の納涼会について

- ① 場所選定、予算見積もり、予約等を徳沢さんに打診し担当をお願いする。
 - ② 例会 開始前の例会は会長が指示し行う。
 - ③ カラオケ 指導小林(美)さんに打診し担当をお願いする。
 - ④ 行事時間は2時間とする。
5. 弁当数の確認前年どおり行いたい。
6. グルメの会提案 春秋各一回、自分の行ったことのある気に入りのお店に皆さんを紹介してみたいという人の紹介で希望者をお店の昼食に順番に案内する。他クラブ会員の参加も歓迎。

1食5千円以内で自己負担とする。

例:大磯 松月(大磯駅前)伊藤博文お気に入りのお店 ミニ懐石 3,500円

アジア太平洋地域大会参加報告



7月19, 21, 22の三日間仙台国際センターにおいてワイズメンズクラブ国際協会第28回アジア太平洋地域大会が開催され、厚木クラブからは北村さんと堀田が総務スタッフとして、小松、日下部、川口、佐藤、徳沢の計7名が参加しました。

堀田は本部に詰めていましたのでエクスカッション中心に感想を書いたいただきました。



2日間にわたって行われた節子の部屋も例年通り盛大だったことを付け加えます。

アジア太平洋地域(仙台)大会に参加して

佐藤 節子

～「来て！みて！伝えて！」8年目の被災地～はじめに

湘南・沖縄部の代表として「エルマー・クロウ賞」を受賞されました。これは新クラブ「横浜つるみクラブ」が誕生したことに対する受賞であります。部が一丸となってスポンサーになれましたことは、各クラブ様の熱意と情熱の賜物でございます。厚く御礼申し上げます。

被災地 ごくごく限られた一部のツアー

NPO 法人「東北ヘルプ」の方が3号車に各分乗。(私は1号車)「被災を受けた者が語り伝える使命がある」と丁寧に原発事故による影響や、区域の編成、除染方法などの説明に衝撃を受けました。

希望の牧場、仮置き場、浪江町の請戸漁業(雨のため車窓)、請戸小学校校舎3階まで押し寄せた津波、止まった時計等生々しい傷跡をみました。

学校が避難所になっているので、大地震の後には必ず津波が来る、その時は大平山に避難する訓練はしていたようです。

実際に地震が来た！ 児童たちは先ず机の下に隠れさしたが、尋常ではない地震。緊急に、学年ごとに列をつくり上級性が下級生と手をつなぎ、屋根瓦の落ちている道、家、田んぼあぜ道を、汗まみれ、不安になる子達を励まし合いながら必死に歩きます。

車いすの子、背負う子の重さの限界を感じた時、大平山に着く。大平山をかき分け国道6号。運よく大型トラックが通り、助けて！山道を超えてきたのです。町役場まで運んでくれませんか？」避難した子ども、大人も全員が乗れた大型トラック！全員無事町役場にたどり着けた。臨場感あるが語りに感無量でした。

まだまだ除染ができず監視員がいる立ち入り禁止地域もありますが、復興を目指していることは確かです。皆さん一生懸命生きています。ささやかな支援が私達の使命と思いました。

第28回アジア太平洋地域大会に参加して

北村文雄

7月19日(金)から21日(日)まで仙台で開催されました。

今回は総務をお手伝いすることになり、前夜仙台入りし、19日朝から受付等の準備から3日間の縁の下作業が始まりました。アジア会長が田中さんということもあり、田中日本区理事のもとで数年前に開催した厚木大会のことが思い起こされました。



役割上、国際センターホール内でのプログラムはほとんど見れませんでした。唯一我がクラブの佐藤節子さんのエルマークロウ賞授与式だけは、ホール

に入り盛大に拍手しました。心残りは次に呼ばれた西日本区の方の時のように厚木クラブ全員で大きな掛け声を掛ければよかったなあと・・・

二度の晩餐会はすばらしかった。

佐藤宗之さんの歌をはじめすべての企画がインターナショナルワイズメンズクラブだった。箸に悪戦苦闘している外国からの参加者が微笑ましかった。

二日目のエクスカーションは福島原発コースに行ったが、放射能汚染という出口すら見えない問題を改めて目の当たりにして心に重く押し掛かるものを感じた。

我々が決して忘れてはならない、これからも奉仕クラブとして関わらなければならないことを自覚する貴重な体験でした。

福島原発のコースに参加して、台湾からの若者とお隣り同士になり、カタコトの日本語と同じくカタコト中国語でコミュニケーションをとりました。津波の後は、一面草はらでショックを受けていましたが、草が生えてくるだけ復活の兆しだそうで、頑張っ

日下部 美幸

エクスカーションNO1に小松仲史さんと一緒に



参加しました。台湾やアジア、オーストラリア、ニュージーランドからの方々も含めバス3台に分乗して8時50分に仙台国際ホールを後にして、まず仙台



青葉城公園へ行き、伊達政宗公の銅像や宮城県護国神社や市内を一望できる場所で記念撮影をしました。

そのあと、1時間ほどかけて荒浜メモリアルモニュメントへ行きました。歩いている途中の道端には住居があったらしい遺構が残っていましたが、一面草原でした。ここに町があったとの説明でした。東日本大震災慰霊の塔と津波の高さ13.5mを表した荒浜記憶の鐘がありました。近くの堤防に上るとはるかに続く太平洋を望むことができました。続いて、荒浜小学校震災遺構をおとずれ、語り部の方から1



時間にわたりお話を聞くことができました。写真と映画を見ました。
(左上が慰霊の塔)



(左奥にあるのが荒浜小学校)
荒浜小学校に避難された方は全員無事に救出されたと

いうことです。

8月クラブ活動予定

8月10日 厚木クラブ第2例会

8月18日 福祉の広場

8月28日 厚木クラブ第1例会

監事より一言

今期のテーマは「楽しく 気長に じっくりと」です。「楽しく」はともかく、「気長に じっくりと」は難しいことです。世界の風潮はすぐに結果を求めるのが流れです。そのために、ある国の大統領のように手段を選ばなくなります。そして、気長にじっくりと熟成してきたものを一瞬で台無しにしてしまいます。気長に、じっくりとすすめるには、思いやりが必要です。青少年へ、お年寄りへ、YMCAへ、そして何よりもワイズの仲間への思いやりを忘れないようにしたいものです。